

2020年 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	情報(講義)	学年・開講期	1年(前期)
担当教員	波多野 忠士	時間数	2単位 30時間
目標	情報の授受に効果的なコンピュータの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用するために、インターネットを利用した情報の収集、開示などに関する基本的知識、技能および態度を習得する。		
授業内容(概要)	コンピュータの基本的操作・効果的な利用法を理解し、情報の収集、開示に関する基本的知識、技能を習得する。		
教科書	よくわかるマスターExcel2016対策テキスト&問題集)		
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技による試験(途中で確認のための小テストを実施) ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし、59点以下D(不合格)とする 		

回数	授業内容
1	セルやセル範囲にデータの挿入、書式の設定、データをまとめ、整理する
2	
3	テーブルを作成、スタイルと設定オプションを管理。テーブルをフィルターし、並べ替える
4	
5	関数を使用して、データ集計、条件付きの計算を実行、書式を設定、文字列を変更する
6	
7	
8	グラフの作成、書式設定、オブジェクトを挿入し書式設定する
9	
10	模擬試験①
11	模擬試験②
12	模擬試験③
13	模擬試験④
14	模擬試験⑤
15	前期試験

2020年 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	接遇(講義)	学年・開講期	1年(前)
担当教員	本多寿子	時間数	2単位 30時間
目標	様々な場面を想定し、倫理・ロールプレイングを実施することにより相手の立場を理解し、場に応じたコミュニケーションをとることができる		
授業内容(概要)	様々な場面の中で必要な情報を収集し、相手の立場、意思疎通のできるコミュニケーションを習得する		
教科書	オリジナルプリント		
成績評価の基準方法	・実技と授業態度 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	第一印象: 第一印象の重要性を知る
2	自己紹介: 自己の印象をフィードバックにより確認する
3	言葉づかい、敬語: 間違いやすい敬語
4	聴くとは: 聴き方、訊き方
5	支持を受ける, 報連相: ロールプレイングにより重要性を理解する
6	メンタルヘルス: 感情のコントロール
7	来客対応: 受付~取次~誘導
8	来客対応: 茶菓接待、お見送り
9	電話対応: 取り次ぐ、不在時の対応、かける
10	電話対応: 来客対応と電話の実技テスト
11	クレーム対応: ロールプレイング
12	説明力: 「言った」から「伝わった」へ
13	話の構成、1分間のスピーチ: 話の組み立て方を知り、実践する
14	プレゼンテーション:: 準備
15	プレゼンテーション:: 発表(総合学習)

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	生命科学(講義)	学年・開講期	1年(前期)
担当教員	宮脇和仁	時間数	2単位 30時間
目標	生物の特徴を、細胞、組織、生命の連続性、環境と反応、等の視点からとらえ、概要を把握することで、専門科目の学習の基礎を理解させる		
授業内容(概要)	細胞の構造と機能、遺伝子と遺伝、生命を構成する基本物質等に関する知識を修得し、生体の構造を理解する。		
教科書	「生物学」全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査及び平常点で評価 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする 		

回数	授業内容
1	1. 生命とは何か 生命の誕生
2	生命の変遷
3	2. 組織と細胞 細胞
4	細胞の一生と個体の成り立ち
5	細胞の一生と個体の成り立ち
6	3. 生命の連続 生殖
7	遺伝の法則1
8	遺伝の法則2
9	生命を作る仕組み
10	遺伝子を働かせる仕組み
11	発生の過程
12	発生の仕組み
13	4. 環境と動物の反応 刺激の需要と反応
14	内部環境を保つ仕組み
15	動物の行動と進化

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	生命倫理・歯科医療倫理(講義)	学年・開講期	1年(前期)
担当教員	助安正一	時間数	2単位 30時間
目標	生命科学・医療技術の進歩は医療問題を複雑にしている。次々に開発される医療技術を社会がどのように受容すべきか。医療に関わる倫理はいかにあるべきかを考える。		
授業内容(概要)	生命の尊厳を理解し、医療従事者として、生命と医療に関わる倫理問題や重要性について理解を深めていく。		
教科書	最新の歯科衛生士教本 歯科医療倫理(第2版) 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・定期考査および受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	現代社会と倫理
2	伝統的な医の倫理から新しい医の倫理へ
3	医療従事者の基本的義務
4	歯科医療に関する権利と義務/歯科衛生士の社会的使命
5	医の倫理に関する規範/国際規範
6	バイオエシックス(生命倫理学)とは何か。
7	バイオエシックスに関わる問題 ①生命の始まりに関わる倫理の問題
8	” ②生命の終わりに関わる倫理の問題
9	” ③臓器移植/遺伝子医療
10	インフォームド・コンセントとは何か
11	インフォームド・コンセントの実際
12	インフォームド・コンセントと患者さん中心の医療
13	研究と医療倫理の関わりについて
14	歯科医療倫理を考える
15	歯科医療従事者のあり方

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科衛生学総論(講義)	学年・開講期	1年 (前期)
担当教員	三浦典子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	ライフステージを通じた歯や口腔の健康づくり、高齢者医療や介護現場からの歯科衛生士の要請を鑑み、他職種との連携も含め全体像を理解する		
授業内容 (概要)	歯科衛生業務を実践して人々の健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を修得する態度及び理論的思考法の基礎を修得する。		
教科書	歯科衛生学総論 医歯薬出版株式会社		
成績評価の 基準方法	・レポート・定期考査により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	歯科衛生学とは
2	歯科衛生士の歴史
3	歯科衛生活動のための理論
4	歯科衛生過程(1)
5	歯科衛生過程(2)
6	歯科衛生士法と歯科衛生業務
7	リスクマネジメント
8	歯科衛生士と医療倫理
9	自己決定権の尊重・インフォームドコンセント
10	歯科衛生士の活動と組織
11	海外における歯科衛生士
12	社会におけるニーズと今後
13	歯科衛生士と関わる専門職
14	歯科衛生士法と歯科衛生業務
15	「考える歯科衛生士」

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	臨床歯科総論(講義)	学年・開講期	1年 (前期)
担当教員	三浦典子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	I 歯科診療と歯科診療所 業務の理解 時間的な流れの中で歯科診療所の日常を理解する II 歯科臨床の専門分野を理解する		
授業内容 (概要)	歯科衛生業務の実践に必要な臨床における基礎的知識を理解する		
教科書	歯科衛生士のための歯科臨床概論	医歯薬出版株式会社	
成績評価の 基準方法	・レポート 定期考査により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	歯科診療とは
2	歯科診療所(スタッフ・安全管理)
3	歯科診療所における業務
4	ライフステージと歯科診療
5	診査・検査・前処置(1)
6	診査・検査・前処置(2)
7	小児歯科
8	矯正歯科
9	口腔外科
10	歯科保存
11	歯周治療(1)
12	歯周治療(2)
13	歯科補綴
14	歯科補綴(有床義歯)
15	障害者歯科・高齢者歯科

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科診療補助論Ⅰ(講義)	学年・開講期	1年 (前期)
担当教員	神田 郁恵 (実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、必要な基礎的知識・態度を習得する 歯科診療で用いられる主要歯科材料の種類・基本的性質・使用法を習得する。		
授業内容 (概要)	専門的な歯科診療の補助に必要な基礎的な知識・医療安全・歯科材料の特性・共同動作の 概念を学び、診療補助の基礎的技術の習得を目指す		
教科書 (概要)	歯科診療補助論 医歯薬出版株式会社		
成績評価の 基準方法	・定期考査、授業態度により評価 ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	歯科診療補助の概念
2	医療安全と感染予防・救命処置
3	歯科における感染予防・医療廃棄物
4	滅菌・消毒
5	歯科診療室の基礎知識
6	患者対応・受診の流れ
7	画像診査(エックス線撮影・口腔内写真撮影)
8	共同動作の概念・ポジショニング
9	器具の受け渡し
10	歯科領域における臨床検査
11	薬品・歯科材料の管理
12	歯科材料① 印象材
13	歯科材料② 石膏
14	歯科材料③ 合着・接着
15	歯科材料④仮封・仮着・ワックス

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科予防処置論(講義)	学年・開講期	1年(前)
担当教員	麻生清子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	4単位 60時間
目標	口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔をの健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術を及び態度を取得させる		
授業内容(概要)	歯科予防処置の概要を理解し、対象者の歯・口腔の健康状態を把握、う蝕予防処置・歯周病予防処置の基礎知識・技術を習得する		
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	定期考査及び受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	歯科予防処置論の概要: 歯科予防処置の定義
2	歯科予防処置論の概要: 歯科予防処置の考え方
3	歯科予防処置論の概要: 歯科予防処置の法的な位置づけ
4	口腔の基礎知識 ①正常な口腔
5	②歯周組織
6	③歯冠と歯根の形態
7	う蝕と歯周病の基礎知識 ①口腔内の付着物
8	②プラーク・歯石
9	③う蝕とは
10	④歯周病とは
11	歯科衛生介入のための歯科予防処置 ①スケーリング(手用スケーラー)
12	②スケーリング(手用スケーラー)
13	③スケーリング(手用スケーラー)

14	④スケーリング(超音波スケーラー)
15	⑤スケーリング(エアースケーラー)
16	⑥ミラーテクニック
17	⑦歯面研磨の目的・種類・操作方法
18	⑧歯面清掃(PMTCとPTC)
19	フッ化物応用 ①フッ化物の基礎知識
20	②フッ化物歯面塗布法
21	③フッ化物洗口法
22	小窩裂溝填塞法 ①フィッシャーシーラント術式
23	②フィッシャーシーラント術式
24	③器具・薬剤の取り扱い方・小窩裂溝填塞後の指導
25	口腔清掃方法 ①ブラッシング歯ブラシの選択
26	②ブラッシング方法
27	③その他の清掃方法
28	④洗口剤の種類とその使用法
29	禁煙者に対する指導
30	前期学習の重要なポイント指導

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科保健指導総論(講義)	学年・開講期	1年(前)
担当教員	麻生清子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する		
授業内容(概要)	歯科保健指導の概要を理解し、歯科衛生過程を学び、対象者に応じたコミュニケーションがとれ、情報収集方法を習得し、ライフステージにおける歯科衛生介入をする。		
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	定期考査及び受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	歯科保健指導論の概要①歯科保健指導の定義②歯科保健指導論の考え方
2	③歯科保健指導の法的な位置づけ④健康の概念・⑤予防の概念
3	歯科保健指導の基礎知識 ①口腔の機能②摂食嚥の仕組み
4	歯科保健指導実施のための基礎知識 ①行動変容の要素とそのステップ
5	歯科衛生過程の進め方 ①歯科衛生過程の基本的な考え方
6	②歯科衛生過程の6つの要素
7	③歯科衛生過程の展開例
8	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理 ①患者からの情報収集
9	②口腔内の情報収集 ③分析のためのデータ
10	ライフステージにおける歯科衛生介入 ①妊産婦期
11	②新生時期・乳児期 ③幼児期 ④学齢期
12	⑤青年期 ⑥成人期 ⑦老年期
13	⑧要介護者
14	⑨障害者
15	前期学習の重要なポイント指導

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校

歯科衛生学科

科目名	組織学・生理学(講義)	学年・開講期	1年(後期)
担当教員	柳澤繁孝(実務経験者) 元病院口腔外科歯科医 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	生命維持の為に組織・生理機能・病態生理について学ぶ 高血圧症、心疾患(冠動脈異常、不整脈、心内膜炎) 歩行、姿勢制御 摂食と嚥下機能		
授業内容(概要)	人体の構造に関する基本的知識を習得し、細胞・組織の発生、各器官の機能を理解する		
教科書	最新の歯科衛生士教本 人体の構造と機能 組織発生学・生理学 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・定期考査及び受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容	担当	日時	
1	細胞組織学概論と生理学概論	柳澤	9月1日	10:45~12:15
2	細胞の構造と機能、細胞の増殖と細胞死	柳澤	9月10日	9:00~10:30
3	上皮組織と腺の構造と機能、結合組織性細胞と線維成分の構造と機能	柳澤	9月17日	9:00~10:30
4	軟骨・骨の構造と機能、骨の発生と発達	柳澤	9月24日	9:00~10:30
5	骨の機能代謝：骨の新生と吸収、活性物質の放出	柳澤	9月29日	10:45~12:15
6	血液：造血、分類、血球の構造と機能	柳澤	10月8日	9:00~10:30
7	血液の生理、体温、ホメオスタシス	柳澤	10月13日	10:45~12:15
8	筋組織：平滑筋、骨格筋、心筋の構造と機能	柳澤	10月22日	9:00~10:30
9	骨格筋の収縮機構と運動反射	柳澤	10月27日	10:45~12:15
10	神経組織：ニューロンとは、神経細胞の分類、神経線維の分類	柳澤	11月5日	9:00~10:30
11	神経終末とシナプス	柳澤	11月12日	9:00~10:30
12	消化と吸収：食物の消化と吸収、消化器系の生理と生化学	柳澤	11月17日	10:45~12:15
13	泌尿器の生理：尿と排泄	柳澤	11月24日	10:45~12:15
14	心肺機能：血圧維持、呼吸の生理	柳澤	12月1日	10:45~12:15
15	人体発生学・初期発生	柳澤	12月10日	9:00~10:30

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	解剖学(講義)	学年・開講期	1年(後期)
担当教員	紀 端成	時間数	2単位 30時間
目標	人体の基本構造と機能を理解し、専門である歯科衛生につなげる。		
授業内容(概要)	人体の基本的構造・各部位の機能を理解し、歯科医療との関係性を学んでいく		
教科書	最新の歯科衛生士教本 人体の構造と機能 解剖学・組織発生学・生理学 全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・筆記試験 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	解剖学の歴史と骨格
2	筋系:体幹と体肢
3	神経系::中枢神経
4	神経系:末梢神経
5	循環器系:心臓、体循環、肺循環
6	循環器系、:動脈、静脈、リンパ管
7	消化器系:口腔、唾液腺、歯
8	消化器系:消化管(食道から肛門)
9	消化器::肝臓、胆のう、膵臓
10	呼吸器系:気道と肺
11	内分泌系:蛋白系ホルモンと脂質系ホルモン
12	泌尿器系:腎臓と尿路
13	感覚器:視覚と聴覚
14	感覚器系:知覚、味覚、嗅覚
15	男性生殖器と女性生殖器:精巣と精路、卵巣と子宮

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	微生物学(講義)	学年・開講期	1年(後期)
担当教員	小野利行(実務経験者) 歯科医院院長 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	微生物の理解を深め、疾病との関連を習得する		
授業内容(概要)	微生物の性質・特性を学び、感染、疾病との関わり、免疫について理解を深めていく		
教科書	疾病の成り立ち及び回復過程の促進2「微生物学」		
成績評価の基準方法	・筆記試験 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	1章 疾病と微生物 ①疾病と微生物 ②感染と感染症
2	2章 微生物の病原性 ①微生物の位置づけ ②細菌 1、細菌の性状と病原性 2、主な病原性細菌
3	2章 微生物の病原性 ③マイコプラズマ属~⑦ウイルス1、ウイルスの性状
4	2章 微生物の病原性 ⑦ウイルス2、歯科に関連するウイルスと感染症⑧その他の微生物(真菌・原虫)
5	3章 宿主防御機構と免疫 ①宿主防御機構
6	3章 宿主防御機構と免疫 ②免疫機構
7	3章 宿主防御機構と免疫 ③液性免疫 ④細胞性免疫
8	3章 宿主防御機構と免疫 ⑤アレルギー(過敏症)
9	4章 口腔微生物学 ①口腔細菌叢 ②デンタルプラーク
10	5章 口腔感染症 ①う蝕 ②歯内感染症 ③歯周病
11	5章 口腔感染症 ③歯周病(復習) ④その他の口腔感染症
12	6章 化学療法 ③歯周病(復習) ④その他の口腔感染症
13	7章 院内感染対策と滅菌・消毒
14	8章 細菌培養・顕微鏡観察 補講
15	まとめ, 試験対策

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	薬理学(講義)	学年・開講期	1年(後期)
担当教員	永井悠介・永井雅恵(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	①国家試験合格. ②日常および歯科臨床で応用可能な薬理学的知識を習得する.		
授業内容(概要)	薬物の性質・作用・副作用等を理解し疾病の回復を促進する薬に関する基礎知識の習得及び、歯科治療に関する薬物の基礎知識を習得する		
教科書	最新歯科衛生教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版		
成績評価の基準方法	・筆記試験(100%) ・100点満点で80点以上A, 79~70点B、69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容	
1	薬理学総論 I	9/7(月)
2	薬理学総論 II	9/14(月)
3	栄養と薬物、ビタミン・ホルモン	9/23(水)
4	炎症・免疫応答と薬物	9/28(月)
5	痛みと薬物、局所麻酔	10/5(水)
6	全身麻酔薬と関連薬	10/14(水)
7	救急薬品	10/21(水)
8	歯科臨床で問題となる全身的治療薬	10/28(水)
9	歯科治療で使用する薬剤	11/4(水)
10	口腔内科的疾患に使用する薬剤	11/11(水)
11	口腔外科的疾患に使用する薬剤	11/18(水)
12	抗感染症薬	11/25(水)
13	消毒薬	12/2(水)
14	まとめ, 試験対策	12/9(水)
15	重要ポイントの確認	12/15(水)

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	口腔組織・生理学(講義)	学年・開講期	1年(後期)
担当教員	二ノ宮浩生・中川文敬(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	歯・口腔とその周囲組織の生理機能に関する基礎知識を習得する。ヒトの歯の形態、歯の発生、歯の組織を理解し、また歯そのものの歯冠及び歯根形態を学ぶ。個々の歯や歯列の形態について、歯や口腔の形態を表現するための解剖学用語を的確に理解する。また、歯周組織との関連を理解する。		
授業内容(概要)	歯・口腔とその周囲組織のしくみ・生理機能に関する基礎知識を習得し、口腔組織の発生・組成・形態を理解し、専門的用語の習得、歯周組織との関連性について理解を深めていく。		
教科書	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学、全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版		
成績評価の基準方法	・筆記試験(100%) ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容	
1	歯と口腔の感覚(歯の感覚, 口腔粘膜の感覚)	9/3 二ノ宮
2	味覚(味覚の役割, 感受性, 味蓄, 味覚の神経機構, 味盲) 嗅覚(役割, 特性, 神経機構)	9/10 中川
3	咬合と咀嚼・吸啜	9/17 二ノ宮
4	嚥下と嘔吐	9/24 中川
5	発声(発声機構の概要, 声の生成, 言語音の形成, 歯・口腔の病態と発音)	10/1 二ノ宮
6	唾液(唾液腺, 唾液の分泌機構, 唾液の性状・成分と機能, 唾液と疾患)	10/8 中川
7	歯の概論(機能、歯の種類と名称、歯の記号、歯式)	10/15 二ノ宮
8	永久歯の形態学的特徴	10/22 中川
9	乳歯の形態学的特徴	10/29 二ノ宮
10	歯と歯周組織の発生	11/12 中川
11	歯と歯周組織の構造と機能(エナメル質、象牙質)	11/19 二ノ宮
12	歯と歯周組織の構造と機能(セメント質、歯根膜、歯槽骨)	11/26 中川
13	歯と歯周組織の構造と機能(歯肉)	12/3 二ノ宮
14	まとめ, 試験対策	12/10 中川
15	重要ポイントの確認	12/17二ノ宮

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	栄養と代謝(講義)	学年・開講期	1年 (後期)
担当教員	谷野真弓	時間数	2単位 30時間
目標	健康の維持増進の基本となる栄養食生活に関する知識を習得し、歯科衛生士としての栄養支援の基礎を形成する		
授業内容 (概要)	各栄養素についての基礎知識を習得し、現代人の食生活の問題を理解し、それぞれのライフステージにおいて必要な栄養指導が行えるように知識の習得に努める		
教科書	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2栄養と代謝 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の 基準方法	・出席状況、授業態度、定期試験により総合的に評価する ・100点満点で80点以上A,79～70点B、69～60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	食生活と栄養
2	栄養素の消化・吸収
3	エネルギー必要量・基礎代謝
4	日本人の食事摂取基準
5	栄養素の働き ① : 糖質
6	栄養素の働き ② : タンパク質
7	栄養素の働き ③ : 脂質
8	栄養素の働き ④ : ビタミン
9	栄養素の働き ⑤ : ミネラル
10	栄養素の働き ⑥ : 水、食物繊維
11	国民の健康と栄養の現状・望ましい食生活
12	ライフステージ別の栄養と調理 ① : 成長期・成人期
13	ライフステージ別の栄養と調理 ② : 妊娠期・授乳期・高齢期
14	食品の成分と分類 ・ 食べ物の物性
15	総まとめ

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	人間関係論・心理学(講義)	学年・開講期	1年 (後期)
担当教員	長谷川美枝子	時間数	2単位 30時間
目標	口腔の保健を担うものとして、一般的な心理学の知識と、患者との信頼関係に基づく医療サービスを提供する能力及び円滑な人間関係を保つ能力を修得する。		
授業内容 (概要)	自分を知り、他者を知る、行動と知覚、学習、記憶、思考の関係を概説でき、その人らしさ、賢さの心理、人と関わる心理、発達するところ、人と集うところ、健康なところ、カウンセリングのころ、思いを伝え合うところなど基本的な知識と考え方を修得する		
教科書	①「心理学」(全国歯科衛生士教育協議会 監修) ②「心理学のすべてがわかる本」(ナツメ社)		
成績評価の 基準方法	・確認小・レポート・本試験による総合評価テスト ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	はじめに 自分を知る・他者を知る
2	1章 見る・聞く・感じるころ
3	2章 学ぶ・覚えるころ
4	3章 やる気の心理
5	4章 喜怒哀楽のころ
6	5章 その人らしさの心理
7	6章 かしこさのの心理
8	7章 考えるころ
9	8章 発達するころ(1)
10	9章 発達するころ(2)
11	10章 人と関わる心理 11章 人と集うころ
12	12章 健康なころ
13	13章 カウンセリングのころ
14	14章 思いを伝え合うころ(1)
15	14章 思いを伝え合うころ(2)

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	公衆衛生学・衛生統計学(講義)	学年・開講期	1年 後期
担当教員	三浦典子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	歯科衛生活動に必要な保健医療情報の収集と取捨選択から、収集したデータの処理と解析する。また、目的に応じたステップを踏んだアプローチを習得し、科学的な根拠に基づいた歯科衛生活動を身につける。		
授業内容(概要)	個人及び団体の歯・口腔の健康と予防プログラムを構築するために、関連する保健情報を把握し、衛生統計の手法を修得する。		
教科書	保健情報統計学(歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み) 医歯薬出版株式会社		
成績評価の基準方法	・レポート・試験成績 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69~60点C(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容	
1	1.保健情報と保健統計	保健情報の種類 ・EBMIについて
2		国家統計調査 ・学校保健統計調査
3	2.保健情報と疫学	疫学総論
4		調査方法の分類 練習問題
5	3.保健情報の分析手順	標本抽出 練習問題
6	4.歯科疾患の指数	数量化と指数
7		う蝕の指数 練習問題
8		歯周疾患歯数① 練習問題
9		歯周疾患歯数② 練習問題
10	5.口腔清掃状態の指数	口腔清掃指数① 練習問題
11		口腔清掃指数② 練習問題
12	6.不正咬合と歯列不正の指数	練習問題
13	7.フッ素症指数	練習問題
14	8.保健統計の方法	
15	9.保健統計学から見た大分県の現状と問題点	

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科診療補助実習 I (実習)	学年・開講期	1年 (後期)
担当教員	麻生清子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 60時間
目標	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する		
授業内容 (概要)	歯科診療補助論 I で修得した知識を相互実習等で技術の向上を図る		
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の 基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査及び実習評価 ・100点満点で80点以上A,79～70点B,69点～60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする 		

回数	授業内容
1	ブラッシング(セルフケア)の実技指導(歯ブラシ・歯間ブラシ・フロス)
2	ブラッシング(セルフケア)の実技指導(歯ブラシ・歯間ブラシ・フロス)
3	ブラッシング(相互)の実技指導(歯ブラシ・歯間ブラシ・フロス)
4	機械的歯面清掃の相互実習
5	機械的歯面清掃の相互実習
6	アルギン酸印象練和・採得
7	アルギン酸印象練和・採得 ・模型作成
8	アルギン酸印象練和・採得 ・模型作成
9	アルギン酸印象練和・採得 ・模型作成
10	セメント練和(各種類)
11	セメント練和(各種類)
12	ラバーダム防湿のかけ方の実習
13	バキューウムテクニックの実習

14	バキューウムテクニックの実習
15	予防充填・仮封剤充填
16	予防充填・仮封剤充填
17	綿線巻・綿球づくり
18	スケーリング(手用)
19	スケーリング(手用)
20	スケーリング(手用)
21	スケーリング(手用)
22	スケーリング(超音波スケーラー)
23	スケーリング(超音波スケーラー)
24	スケーリング(超音波スケーラー)
25	スケーリング(エアースケーラー)
26	スケーリング(エアースケーラー)
27	シャープニング
28	シャープニング
29	ブラッシングテクニックと手用スケーラーの再確認
30	ブラッシングテクニックと手用スケーラーの再確認

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科診療補助実習 I (実習)	学年・開講期	1年 (後期)
担当教員	麻生清子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 60時間
目標	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する		
授業内容 (概要)	歯科診療補助論 I で修得した知識を相互実習等で技術の向上を図る		
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の 基準方法	・定期考査及び実習評価 ・100点満点で80点以上A,79～70点B,69点～60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	ブラッシング(セルフケア)の実技指導(歯ブラシ・歯間ブラシ・フロス)
2	ブラッシング(セルフケア)の実技指導(歯ブラシ・歯間ブラシ・フロス)
3	ブラッシング(相互)の実技指導(歯ブラシ・歯間ブラシ・フロス)
4	機械的歯面清掃の相互実習
5	機械的歯面清掃の相互実習
6	アルギン酸印象練和・採得
7	アルギン酸印象練和・採得 ・模型作成
8	アルギン酸印象練和・採得 ・模型作成
9	アルギン酸印象練和・採得 ・模型作成
10	セメント練和(各種類)
11	セメント練和(各種類)
12	ラバーダム防湿のかけ方の実習
13	バキューウムテクニックの実習

14	バキューウムテクニックの実習
15	予防充填・仮封剤充填
16	予防充填・仮封剤充填
17	綿線巻・綿球づくり
18	スケーリング(手用)
19	スケーリング(手用)
20	スケーリング(手用)
21	スケーリング(手用)
22	スケーリング(超音波スケーラー)
23	スケーリング(超音波スケーラー)
24	スケーリング(超音波スケーラー)
25	スケーリング(エアースケーラー)
26	スケーリング(エアースケーラー)
27	シャープニング
28	シャープニング
29	ブラッシングテクニックと手用スケーラーの再確認
30	ブラッシングテクニックと手用スケーラーの再確認

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	口腔外科・麻酔学(講義)	学年・開講期	2年(前期)
担当教員	柳澤繁孝(実務経験者) 元病院口腔外科歯科医 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	口腔外科学・麻酔学口腔に発生する疾患の病態と治療について学ぶ 病態: 先天異常、炎症、感染症、外傷、発育異常、腫瘍、感覚障害、額かせゆ、粘膜異常 対象組織: 上・下顎骨、歯槽骨、歯、歯肉、舌、口腔粘膜、咀嚼筋		
授業内容(概要)	口腔外科治療や歯科麻酔の補助のために必要な治療手順、薬剤及び器材の使用法を習得する		
教科書	最新の歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・定期考査及び受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A、79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	授業内容
1	口腔顎顔面の先天異常・発育不全: 口唇口蓋裂、鰓弓症候群、顎発育異常
2	口腔・顎顔面部の炎症(硬組織): 顎骨炎、顎骨骨髓炎、歯槽骨炎、歯槽膿瘍
3	口腔・顎顔面部の炎症(軟組織): 智歯周囲炎、蜂窩織炎、外歯瘻
4	感染症: ヘルペス性口内炎、手足口病、麻疹、インフルエンザ、HIV、肝炎、梅毒、結核
5	外傷: 歯牙外傷、歯槽突起骨折、上顎骨折、下顎骨折、頬骨骨折
6	粘膜の異常: 口腔扁平苔癬、白板症、紅斑症
7	腫瘍1: 歯原性腫瘍、良性腫瘍(血管腫、乳頭腫、リンパ管腫、母班)
8	腫瘍2: 口腔癌、肉腫、悪性リンパ腫、転移性ガン
9	感覚障害: 感覚麻痺、三叉神経痛、味覚障害
10	顎関節異常: 顎関節症、顎関節強直症、顎関節脱臼
11	麻酔: 全身麻酔(気管支内挿管、静脈麻酔)、吸入鎮静法、伝達麻酔、浸潤麻酔
12	摂食・嚥下機能と異常、(肝炎(感染性)、梅毒、HIV、流行性耳下腺炎、肺結核)
13	医療用語の知識、歯科治療と関連のある感染性疾患、周術期歯科治療と関連した疾患の知識
14	まとめ、試験対策
15	発生学: 初期発生

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	高齢者・障害者歯科学(講義)	学年・開講期	2年(前)
担当教員	安東俊介・木船敏郎(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	1. 高齢者取り巻く環境、加齢に伴う心身機能の変化、高齢者に多い疾患について理解する。高齢者に対する口腔のケア、摂食・嚥下リハビリテーションについての知識を得る。 2. 障害者の概念を理解し、障害者の歯科臨床における行動調整法や歯科保健指導、摂食嚥下指導などの実践につながる基本的知識と技術についての知識を得る。		
授業内容(概要)	高齢者及び障害者歯科治療の補助のために必要な患者対応および治療手順、薬剤および器材の使用法を習得する。		
教科書	最新歯科衛生教本 高齢者歯科・障害者歯科 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・筆記試験(100%) ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容	
1	高齢者をとりにまく社会と環境	4/15 安東
2	加齢による身体的・精神的変化と疾患	4/22 安東
3	高齢者の状態の把握	5/13 安東
4	高齢者の口腔ケア	5/20 安東
5	高齢者の摂食・嚥下リハビリテーション	5/21(午後) 安東
6	高齢者に関わる医療と介護	5/27 安東
7	障害の概念	6/3 木船
8	歯科医療で特別な支援が必要な疾患	6/10 木船
9	障害者の歯科医療と行動調整	6/17 木船
10	障害者の健康支援と口腔衛生管理	6/24 木船
11	障害者のリスク評価と安全管理	7/1 木船
12	障害者の摂食・嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割	7/15 木船
13	高齢者・障害者歯科における歯科衛生過程	7/16(午後) 安東
14	まとめ	7/22 安東
15	地域における障害者歯科	7/29 木船

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯周病学(講義)	学年・開講期	2年 (前期)
担当教員	小原正嗣・高橋弘子 (実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	歯周組織の解剖や機能、疾患の病因・分類・全身との関連を理解する。さらには歯周治療における歯科衛生士の役割を理解すること。		
授業内容 (概要)	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、及び態度を習得する。		
教科書	歯科衛生士教本 歯周病学第2版 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・筆記試験 ・100点満点で80点以上A,79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	2020/4/9 オリエンテーション 歯周治療とは 歯周組織の構造と機能 (小原)
2	2020/4/16 歯周病の分類と原因 ①(小原)
3	2020/4/23 歯周病の分類と原因 ②(小原)
4	2020/4/30 歯周治療における歯科衛生士の役割 ① (高橋)
5	2020/5/14 歯周治療の進め方 (小原)
6	2020/5/21 歯周病の検査 (小原)
7	2020/5/28 歯周治療における歯科衛生士の役割 ② (高橋)
8	2020/6/4 歯周基本治療 (小原)
9	2020/6/11 歯周外科治療 ① (小原)
10	2020/6/18 歯周治療における歯科衛生士の役割 ③ (高橋)
11	2020/6/25 歯周外科治療 ② (小原)
12	2020/7/2 歯周治療としての口腔機能回復・メンテナンス (小原)
13	2020/7/9 歯周治療における歯科衛生士の役割 ④ (高橋)
14	2020/7/16 予備日 まとめ 試験対策 (高橋)
15	2020/7/30 定期試験 対策 (小原)

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	衛生学(講義)	学年・開講期	2年(前)
担当教員	工藤信哉(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	健康を左右する環境について理解し、次いで個人を対象とした口腔の健康と予防について理解する。そして、集団を対象とする地域保健活動のあり方と、多職種と歯科衛生士との関わりについての理解を深めていく。		
授業内容(概要)	個人及び地域における健康の保持・増進と、疾病の予防とを学ぶ。国民の健康を保持・増進させるため、公私の保健機関や地域・職域組織によって営まれる組織的な衛生活動を研究する。		
教科書	教科書 最新歯科衛生教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第3版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版		
成績評価の基準方法	・筆記試験 ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

	授 業 内 容
1	I 編 健康を左右する環境 1章 総論 2章 疫学
2	3章 人口 4章 健康と環境
3	5章 感染症 6章 食品と健康
4	I 編の補講とまとめ
5	II 編 歯・口腔の健康と予防 1章 総論 2章 口腔清掃
6	3章 歯科疾患の疫学 4章 う蝕の予防
7	5章 フッ化物によるう蝕予防 6章 歯周疾患の予防
8	7章 その他の疾患・異常の予防 8章 ライフステージごとの口腔保健管理
9	II 編の補講とまとめ
10	III 編 健康に関わる地域の役割 1章 地域保健・公衆衛生 2章 母子保健
11	3章 学校保健 4章 成人保健
12	5章 産業保健 6章 老人(高齢者)保健
13	7章 精神保健 8章 災害時の歯科保健
14	9章 国際保健
15	全体のまとめ・試験対策

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	保存修復・歯内療法学(講義)	学年・開講期	2年(前期)
担当教員	中川文敬・二ノ宮浩生(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保存修復・歯内療法の基本を学び、それぞれに関する理解を深め、診療補助の能力を修得する ・歯科臨床で応用可能な補綴学的知識を修得する 		
授業内容(概要)	保存修復・歯内療法に必要な治療手順、薬剤及び器具の使用法を習得する。 補綴治療に必要な検査や治療手順及び器材の使用法を習得する。		
教科書	歯の硬組織・歯髄疾患保存修復・歯内療法 咀嚼障害/咬合異常1 歯科補綴 <small>全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)</small>		
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験、受講態度、実技 ・100点満点で80点以上A, 79~70点B, 69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。 		

回数	授業内容
1	保存修復・歯内療法の概論(中川) 4/9
2	歯科補綴概要、基礎知識(二ノ宮) 4/16
3	直接法修復(コンポジットレジン修復・セメント修復)(中川) 4/23
4	補綴装置の種類とその構造 補綴歯科治療の実際:検査・診断(二ノ宮) 4/30
5	間接法修復(インレー及びあんれー修復・合着材及び接着材・保存修復における歯科衛生士の役割(中川)5/14
6	クラウン・ブリッジ治療の実際:クラウン・ブリッジ(二ノ宮) 5/21
7	歯髄保存療法・歯髄の除去療法(中川) 5/28
8	有床義歯治療の実際(二ノ宮) 6/4
9	根管治療・根管充填(中川) 6/11
10	インプラント治療の実際(二ノ宮) 6/18
11	外科的歯内療法・葉の外傷・歯内療法における安全対策・歯内療法における歯科衛生士の役割(中川) 6/25
12	補綴歯科治療用いられる器材(二ノ宮) 7/2
13	補足・まとめ(中川) 7/9
14	補綴歯科治療に用いられる歯科技工(二ノ宮) 7/16
15	補綴歯科治療における歯科衛生士の役割(二ノ宮) 7/30

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	口腔健康・機能管理論(講義)	学年・開講期	2年(前期)
担当教員	石松公子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	歯科衛生士の役割は口腔領域の疾病対応のみならず摂食嚥下障害のある対象者にたいして多職種との連携・協働において最も望ましい支援について歯科衛生士の専門性をたかめる		
授業内容(概要)	摂食嚥下障害への対応、口腔内審査、精密検査への流れ、摂食嚥下リハビリテーションの指導法の知識を習得することで、口腔ケアや舌・口腔周辺の機能改善をはかりでQOLの向上をはかることの必要性を理解する。		
教科書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版(医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・定期考査及び受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A、79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	2020/4/14 オリエンテーション 嚙むことについて(プリント)
2	2020/4/20 オーラルフレイルと口腔ケア(プリント)
3	2020/5/11 歯科衛生士と摂食嚥下リハビリテーション
4	2020/5/25 リハビリテーションと摂食嚥下リハビリテーション
5	2020/6/1 摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解
6	2020/6/8 摂食嚥下機能のメカニズム
7	2020/6/15 咬合および咀嚼機能の管理と評価
8	2020/6/22 栄養管理 リスクマネジメント
9	2020/6/29 病態別摂食嚥下障害
10	2020/7/6 摂食嚥下の評価
11	2020/7/13 摂食嚥下リハビリテーションと口腔衛生管理
12	2020/7/20 摂食嚥下訓練
13	2020/7/27 歯科衛生士が行う摂食嚥下リハビリテーションの基本
14	2020/8/17 まとめ 試験対策
15	2020/8/24 試験 対策

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	国語(講義)	学年・開講期	2年(前期)
担当教員	富成碩甫	時間数	2単位 30時間
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み解く技術を身に付ける。 ・文章を書くための技術を身に付ける。 ・実用的な国語力を身に付ける。 ・語彙力を身に付ける。 		
授業内容(概要)	文章の構造を知り、要点を把握する。伝わる文章の書き方を習得することにより、社会人としてのビジネススキルを身に付ける。		
教科書	配布資料		
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、レポートの提出状況及び筆記試験により総合的に評価する。 ・100点満点で80点以上A, 79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。 		

回数	授業内容
1	文章の基本の形について。
2	三段型の文章の読み書きについて
3	四段型の文章の読み書きについて
4	文章把握の基本について①
5	文章把握の基本について②
6	文章把握の基本について③
7	文章の書き方の基本について①
8	文章の書き方の基本について②
9	文章の書き方の基本について③
10	伝わる文章の構造について①
11	伝わる文章の構造について②
12	伝わる文章の構造について③
13	伝わる文章の構造について④
14	実用的な国語の基礎知識 《手紙、ビジネスメールの書き方》。
15	実用的な国語の基礎知識 《公用文の書き方》。

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	生活習慣・食生活指導(講義)	学年・開講期	2年 (前期)
担当教員	神田 郁恵 (実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	食習慣・生活習慣を把握し問題点を理解する 歯科における糖尿病への関わりを理解する 食生活指導の方法を学ぶ		
授業内容 (概要)	基本的栄養素の働きを理解し、現代の食生活・生活習慣の問題点を把握し、歯科疾患と生活習慣病との関りを学んでいく		
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版株式 / 歯科医院に知ってほしい糖尿病のこと(西田 互著)医歯薬出版株式会社		
成績評価の 基準方法	・試験成績、 レポート課題など ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	栄養素とその働き
2	食生活・食習慣の把握
3	食品とう蝕誘発性
4	砂糖とう蝕の関連性
5	咀嚼と食品
6	う蝕予防のための食品摂取
7	歯科と糖尿病①
8	歯科と糖尿病②
9	歯周病と糖尿病
10	歯科医院で注意すべき糖尿病患者の症状
11	歯科における食生活指導の重要性
12	シュガーコントロール
13	喫煙による口腔への影響
14	喫煙者に対する指導
15	まとめ

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科診療補助論Ⅱ(講義)	学年・開講期	2年(前期)
担当教員	三浦 典子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	チーム医療が重要となるのは診療室にとどまらず、在宅や入院患者への対応も増加してきている。様々なライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する知識、技術及び態度の習得。		
授業内容(概要)	様々なライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎知識、技術を習得する		
教科書	歯科診療補助論 医歯薬出版株式会社		
成績評価の基準方法	・レポート・試験成績 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	間接修復/ホワイトニングの診療補助
2	歯内療法(抜髄)・根管治療(根管充填)時の診療補助
3	歯周外科時の診療補助
4	補綴(前歯部前装冠)の診療補助
5	補綴(局部義歯)の診療補助
6	口腔外科時の診療補助・歯科麻酔時の診療補助
7	矯正・小児歯科治療時の診療補助
8	歯科材料①印象材・模型の作成②合着・接着・歯冠形成③仮封・仮着・ワックス
9	主な全身疾患とその対応(1)代謝・内分泌疾患、消化器疾患、循環器疾患、血液疾患、
10	主な全身疾患とその対応(2)呼吸器疾患、腎・泌尿器疾患、免疫・膠原病、感染症、
11	主な全身疾患とその対応(3)神経系疾患、精神疾患、がん、産科・婦人科疾患
12	周術期における歯科診療補助
13	歯科訪問診療における対応
14	ターミナルケアへのかかわり
15	臨床検査データ

2020 シラバス

歯科衛生学科

科目名	う蝕予防処置論(講義)	学年・開講期	2年(前)
担当教員	麻生清子(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な基礎知識、技術、及び態度を習得する		
授業内容(概要)	基礎知識を学び、対象者の評価と計画を立て、う蝕予防法の3つの大きな処置を説明・実施できるようにする		
教科書	歯科衛生士のためのう蝕予防処置		(医歯薬出版)
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査及び平常点で評価 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする 		

回数	授業内容
1	I 総説編 ①う蝕予防処置法序説(う蝕予防処置法とは・範囲と種類・歯科衛生士の役割・注意点)
2	②う蝕の知識(う蝕とは・プラークのなりたちと齲蝕・う蝕の早期診断の意義)
3	③歯および唾液とフッ化物応用の知識(歯およびエナメル質表層に知識・唾液の知識)
4	④う蝕活動性(リスク)試験(う蝕活動性(リスク)試験試験とは・種類には・成績) ⑤う蝕抑制効果の評価およびスクリーニング手法
5	II 実習編 ①う蝕予防処置法のアウトライン
6	②う蝕予防処置法の基礎実習
7	②う蝕予防処置法の基礎実習
8	③フッ化物溶液歯面塗布法 ④フッ化物ゲル(ゼリー)歯面塗布法
9	⑤フッ化ジアミン銀溶液塗布法 ⑥小窩裂溝填塞法 ⑦早期う蝕検出
10	⑧う蝕活動性(リスク)試験(唾液流出測定・シーエーティ21バフ・シーエーティ21バフテスト)
11	⑧う蝕活動性(リスク)試験(歯の健康度テスト)⑨う蝕抑制効果評価とスクリーニング指標算出
12	⑩う蝕予防処置法の臨床(フッ化物ゲル(ゼリー)歯面塗布法フッ化ジアミン銀溶液塗布法小窩裂溝填塞法)
13	⑩う蝕予防処置法の臨床(フッ化物ゲル(ゼリー)歯面塗布法フッ化ジアミン銀溶液塗布法小窩裂溝填塞法)
14	III 集団応用編 ①う蝕予防処置集団応用の考え方
15	②う蝕予防処置集団応用実習

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	小児歯科・矯正歯科学(講義)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	河野 裕・小椋幹記(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	小児歯科学:歯科衛生士として小児歯科学、小児歯科医療の知識を十分に修得する。 矯正歯科学:歯科衛生業務に必要な不正咬合の症状および治療法を理解するために、矯正歯科治療の基礎的事項、実際および歯科衛生士の役割について説明できる。		
授業内容(概要)	小児歯科治療の知識を習得することで、診療補助に必要な患者対応および治療手順、薬剤及び器材の使用法を習得する		
教科書	最新歯科衛生士教本 小児歯科、咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・定期考査及び受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	矯正歯科学:矯正歯科治療の概要;小椋幹記 9/2
2	小児歯科学:小児歯科治療の概念;河野 裕 9/7
3	矯正歯科学:矯正歯科治療に関する基礎知識1;小椋幹記 9/16
4	矯正歯科学:矯正歯科治療に関する基礎知識2;小椋幹記 9/30
5	小児歯科学:小児歯科治療に関する基礎知識1;河野 裕 10/7
6	小児歯科学:小児歯科治療に関する基礎知識2;河野 裕 10/14
7	矯正歯科学:矯正歯科治療の実際1;小椋幹記 10/21
8	小児歯科学:小児歯科治療の実際1;河野 裕 10/18
9	矯正歯科学:矯正歯科治療の実際2;小椋幹記 11/4
10	小児歯科学:小児歯科治療の実際2;河野 裕 11/11
11	矯正歯科学:矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割1;小椋幹記 11/18
12	小児歯科学:小児歯科臨床における歯科衛生士の役割1;河野 裕 11/25
13	矯正歯科学:矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割2;小椋幹記 12/2
14	小児歯科学:小児歯科臨床における歯科衛生士の役割2;河野 裕 12/9
15	矯正歯科学:矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割3;小椋幹記12/16

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	病理学・口腔病理学(講義)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	加藤裕之・山路野由希子(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	全身的な疾病と健康の基本知識を習得する。歯・口腔とその周囲組織の異常、病変、病態を理解する。口腔保健と全身の関わりを学ぶ。		
授業内容(概要)	口腔領域に発生する疾病の発生機序、病理学的特徴を理解することで、疾病の概念、病因と病態の基本的知識を理解する		
教科書	最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学 全 国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版		
成績評価の 基準方法	・定期考査及び受講態度により評価する ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容	担当	日時	
1	病理学序論と病因論	加藤	9月4日	2限
2	遺伝性疾患と奇形	山路野	9月11日	2限
3	循環障害	加藤	9月18日	2限
4	代謝障害と退行性病変	加藤	9月25日	2限
5	増殖と修復	山路野	10月2日	2限
6	炎症と免疫応答異常	加藤	10月9日	2限
7	腫瘍	加藤	10月16日	2限
8	歯の発育異常・損傷と着色・付着物	山路野	10月23日	2限
9	う蝕及び象牙質・歯髄複合体の病態	山路野	10月30日	2限
10	歯周組織の病態	山路野	11月6日	2限
11	口腔粘膜の病変	山路野	11月13日	2限
12	口腔領域の嚢胞と腫瘍	山路野	11月20日	2限
13	口腔癌	山路野	11月27日	2限
14	顎骨及び唾液腺の病変	山路野	12月4日	2限
15	口腔領域の奇形・口腔組織の加齢変化	山路野	12月11日	2限

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	救急救命処置(講義)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	甲斐順子(実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・常に患者の全身状態を観察し緊急時に迅速、適切な対応知識を身につける ・歯科用エックス線撮影の知識を持ち、歯科医師指導の下での撮影補助技術を身につける 		
授業内容(概要)	バイタルサインとその測定法、1次救命、AEDの取り扱い等を習得することにより、緊急時に歯科衛生士として対応できるスキルを身に着ける		
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・AHAガイドライン2015に沿ったBLSのために ・看護学大意 医歯薬出版 ・歯科放射線 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版) 		
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 ・100点満点で80点以上A、79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。 		

回数	授業内容
1	歯科衛生士が知っておくべき看護技術の総論
2	①バイタルサインについて ②測定方法
3	歯科衛生士に必要な看護実務の総論
4	救急時の看護 ①一次救命処置(chapter1)確認と救急の出動要請まで
5	②AED(自動体外式除細動器(chapter3))
6	③神経性ショック(chapter2) 成人が一人で行い一次救命処置
7	④過換気症候群(chapter4) 小児・乳児の心肺蘇生術
8	救急救命処置確認まとめ
9	1章 歯科医療と放射線 2章 エックス線画像の形成
10	3章 歯科におけるエックス線検査
11	4章 口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割
12	5章 パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割
13	6章 写真処理と画像保管の実際
14	7章 放射線治療と口腔管理
15	歯科放射線つ目試験対策

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	医事法学（講義）	学年・開講期	2年 後期
担当教員	二宮孝富	時間数	1単位 15時間
目標	歯科衛生士として、また、市民として必要な法的素養を身に着ける。 国家試験合格を目指す。		
授業内容 （概要）	日本の保健・医療・福祉制度と医事法制を理解し、歯科衛生の在り方を考える態度を養うために、歯科衛生士に必要な基礎的知識を習得する。		
教科書	歯科衛生士と法律・制度 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価 の 基準方法	・出欠・受講態度・期末試験成績等を総合的に判定する。 ・100点満点で80点以上A、79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	法の基礎～1 法の体系・立憲主義
2	法の基礎～2 市民生活と法—契約・損害賠償・成年後見制度
3	歯科衛生士に関する法律～ 歯科衛生士法・歯科医師法等
4	歯科医療に関する法律～ 医師法・薬剤師法等
5	社会保障の法律と制度
6	社会福祉の法律と制度
7	地域保健に関する法律
8	医療の動向

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	カウンセリング技法(講義)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	長谷川 美枝子	時間数	2単位 30時間
目標	患者の口腔ケアを管理・持続させていくためには、口腔内の症状をみるだけでなく、患者が抱えているさまざまな気持ちや思い、さらに、患者自身が抱える問題を理解することが大切である。その手段として歯科医療臨床場面に必要な心理療法と技法を理解し、コミュニケーションスキルを高めることを目標とする。		
授業内容(概要)	歯科医療臨床場面に必要な心理療法と技法を理解し、医療現場での患者を支援するためのコミュニケーションスキルを習得する		
教科書	資料配付		
成績評価の基準方法	・課題プリント 確認小テスト 終講試験 ・100点満点で80点以上A、79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容	
1	I 人間の心とは何か	①「心」の定義 ②フロイトのパーソナリティ構造論
2		③人間の心の動きや状態 ④欲求不満と防衛(適応)規制
3		⑤カタルシス ⑥ストレスとコーピング ⑦タイプAとタイプB
4		⑥適応障害 ⑦気分障害 ⑧歯科心身症 ⑨PTSD
5	II 心理アセスメント	①問題の要因と心理アセスメント ②心理アセスメントの種類
6	III さまざまな心理アセスメント	①行動観察法 ②面接法
7	IV さまざまな心理療法と技法	①心理療法とカウンセリング ②カウンセリング・マインド
8		③ラポール ④傾聴(その1) ⑤転移 ⑥助けると支援する
9		⑦事例 ⑧心理療法の3つの流れ ⑨面接法 ⑩精神分析
10		⑪来談者中心療法 ⑫行動療法 ⑬認知行動療法
11		⑭症例 -恐怖症-
12	V アサーション	①アサーションとは ②アサーションの重要性
13		③自己表現の3つのタイプ ④演習
14	VI 積極的傾聴	①傾聴(その2) ②明確化 ③フィードバック ④沈黙の意味
15	VII 質問への応答	①質問の意味を理解する ②質問に応じて

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	口腔衛生学(講義)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	生野 貴裕 (実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	少子高齢化による人口構成の変化、寝たきり高齢者や長期入院患者の増加に対応できる口腔の健康と予防について学ぶ		
授業内容(概要)	口腔の健康と予防、歯科疾患の疫学、総合的な予防の概念をりかいすることで、ライフステージごとの口腔保健管理を指導できるスキルを身に着ける		
教科書	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	・授業態度 試験成績 ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	1章 総論 ①歯・口腔の健康と予防
2	②歯・口腔の健康
3	③歯・口腔の付着物・沈着物
4	2章 口腔清掃 ①口腔清掃の意義②口腔清掃法 ③人工的清掃法の分類と用具
5	④不適切な口腔清掃による為害作用 ⑤歯磨剤と洗口液・洗口剤
6	3章 歯科疾患の疫学 ①う蝕の疫学 ②歯周疾患の疫学 ③その他の疫学
7	4章 う蝕の予防 ①う蝕発生のメカニズム ②う蝕の発生要因
8	③う蝕活動性 ④う蝕の予防法
9	5章 フッ化物によるう蝕予防 ①我が国のフッ化物応用 ②フッ化物の一般性状と用語 ③人間生態系におけるフッ化物 ④フッ化物摂取量とその基準⑤フッ素の代謝⑥フッ化物の毒性
10	⑦フッ化物応用によるう蝕予防方法
11	⑧フッ化物のう蝕予防メカニズム⑨ライフステージに応じたフッ化物応用法
12	6章 歯周病の予防
13	7章 その他の疾患・異常の予防
14	8章 ライフステージごとの口腔保健管理
15	全体のまとめ、試験対策

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	口腔解剖学(講義)	学年・開講期	2年 (後期)
担当教員	木船敏郎 (実務経験者) 歯科医院歯科医 本校兼任教員	時間数	2単位 30時間
目標	1. 組織発生学を含めた口腔領域の解剖学口腔機能(咬合、咀嚼、嚥下、発生、味覚、嗅覚など)についての知識を得る。 2. 歯及び歯周組織の解剖学、組織学、生理学についての知識を得る。		
授業内容 (概要)	発生学を含めた口腔領域の解剖学的機能、歯及び歯周組織の解剖学的知識を習得し、口腔領域を系統的に理解する		
教科書	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学、 全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版		
成績評価の 基準方法	・筆記試験(100%) ・100点満点で80点以上A,79~70点B、69点~60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容	担当	日時
1	鰓弓の形成、顔面と口唇の形成	木船	9/4 1時限
2	口唇と鼻腔の形成、舌の形成、腺の形成	木船	9/11 1時限
3	口腔とは	木船	9/18 1時限
4	頭蓋 1	木船	9/25 1時限
5	頭蓋 2	木船	10/2 1時限
6	口腔を形成する骨	木船	10/9 1時限
7	顔面筋	木船	10/16 1時限
8	咀嚼筋	木船	10/23 1時限
9	顎関節	木船	10/30 1時限
10	動脈系	木船	11/6 1時限
11	静脈系、リンパ系	木船	11/13 1時限
12	脳神経 1	木船	11/20 1時限
13	脳神経 2	木船	12/4 1時限
14	頭頸部にある脊髄神経	木船	12/11 1時限
15	まとめ (予備)	木船	12/18 1時限

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	健康教育活動論(講義)	学年・開講期	2年 (後期)
担当教員	三浦 典子 (実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 30時間
目標	健康寿命の延伸への歯科からの対応。口腔機能の大切さへの気付き、機能を守り育てる支援方法を知り、ライフステージを考慮した支援内容を提案できる。		
授業内容 (概要)	健康教育活動の場で指導するために、必要な専門知識、技術および態度を習得する		
教科書	口腔保健管理 医歯薬出版		
成績評価の 基準方法	・レポート・試験成績 ・100点満点で80点以上A, 79～70点B、69点～60点C、(合格)とし59点以下D(不合格)とする。		

回数	授業内容
1	1. 口腔疾患予防の臨床 口腔保健の意義
2	1. 口腔疾患予防の臨床 対象把握と予防管理
3	1. 口腔疾患予防の臨床 病勢阻止のための継続管理(第2次予防)
4	2. 生涯を通じた口腔保健管理 目的・口腔保健管理の実際 (ライフステージごとの口腔保健管理計画)
5	2. 生涯を通じた口腔保健管理 目的・口腔保健管理の実際 (特別な配慮が必要な人の口腔保健管理)
6	2. 生涯を通じた口腔保健管理 口腔保健管理の場の理解 (施設・居宅訪問指導等)
7	3. 口腔観察と口腔清掃 口腔観察と記録
8	3. 口腔観察と口腔清掃 ホームケアとプロフェッショナルケア
9	3. 口腔観察と口腔清掃 継続管理システム
10	4. 業務記録 業務記録の目的と意義
11	4. 業務記録 業務記録の種類と形式
12	4. 業務記録 地域保健の場における業務記録
13	5. 演習 ①ポイント・②学童期の指導
14	5. 演習 ③歯周疾患患者の継続管理指導
15	5. 演習 ④要介護高齢者の指導

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科診療補助実習Ⅱ(実習)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	麻生清子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	2単位 60時間
目標	基礎実習を充実させ、即、臨床に活かせる実技の習得		
授業内容(概要)	歯科診療補助論Ⅱで修得した知識を相互実習等で技術の向上を図る		
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「歯科診療補助論」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)		
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査及び平常点で評価 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする 		

回数	授業内容
1	歯科予防処置(う蝕予防処置) ラバーダム防湿の相互実習
2	第2章 う蝕予防処置法の基礎実習 ①唾液の消化作用確認実習 ②スクロールとキシリトールの理解 ③エナメル質の脱灰(酸処理)観察実習
3	第3章 フッ化物溶液・ゲル・フォーム歯面塗布法 ①フッ化物溶液・ゲル・フォームの味の確認実習 ②フッ化物歯面塗布の相互実習(トレー法・イオン導入法・綿球塗布法)
4	第5章 フッ化ジアミン銀溶液塗布法 ①フッ化ジアミン銀の抜去歯への塗布実習 ②フッ化ジアミン銀の手指及び布への着色・脱色の実習
5	第6章 小窩裂溝填塞法 ①酸処理面の観察実習 ②小窩裂溝填塞歯の断面の観察実習 ③小窩裂溝填塞法の相互実習(光重合型小窩裂溝填塞材)
6	第8章 う蝕活動性(リスク)試験 ①唾液流出量測定 ②シーエーティ21パフ ③シーエーティ21Test
7	歯科予防処置(歯周病予防処置) ①プロービング相互実習
8	②手用スケーラーによるSRPの相互実習
9	③手用スケーラーによるSRPの相互実習
10	④超音波スケーラー・エアースケーラーによる歯石除去の相互実習
11	⑤超音波スケーラー・エアースケーラーによる歯石除去の相互実習

12	⑥染め出し・歯面研磨相互実習
13	⑦スケーラーのシャープニング
14	⑧スケーラーのシャープニング
15	歯科保健指導1回目 ①口腔衛生管理に関わる指導（ブラッシング・その他の清掃方法・洗口剤） ②口腔機能管理に関わる指導（口腔機能の発達に関連する指導・口腔機能の低下に関連する指導）
16	歯科保健指導2回目 ③口腔衛生に関わる指導（ブラッシング・その他の清掃方法・洗口剤） ④口腔機能管理に関わる指導（口腔機能の発達に関連する指導・口腔機能の低下に関連する指導）
17	⑤生活習慣病に関わる指導（非感染疾患・喫煙者相互実習）
18	⑥歯科保健指導用媒体作成
19	⑦歯科保健指導用媒体作成
20	歯科診療補助実習 ①口腔内写真撮影の相互実習
21	②口腔内写真撮影の相互実習
22	③X線撮影
23	④保存修復時の診療補助 ⑤歯内療法時の診療補助 ⑥歯周外科時の診療補助 ⑦口腔外科時の診療補助
24	⑧成形歯冠修復の補助（即時重合レジンを使ってTEKの作成・コンポジットレジン充填・隣接面あり）
25	⑨仮封・仮着の補助（水硬性・ストップング軟化の仕方） ⑩ワックスの扱い方 ⑪モデリングコンパウンドの扱い方
26	⑫歯肉圧排の仕方 ⑬バキューム操作
27	⑭綿栓巻・セメント練和
28	⑮アルジネート印象材練和と印象採得
29	⑯車椅子の扱い方と移動
30	総合演習

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	臨地実習(実習) (高齢者・障がい者・小児)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	麻生清子・三浦典子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教	時間数	5単位 225時間
目標	①高齢者施設における医療・機能訓練・介護が必要な高齢者の生活特性を学び、口腔衛生活動を通して生活の質の向上の支援し、多職種の役割を理解し、協働を考える ②障がい者の個々のニーズに応じたコミュニケーションを図り、セルフケアの支援・口腔ケアを確認する ③遊びを通して園児とコミュニケーションをとることができる・体験・観察から幼児に対する支援の要点を列挙することができる		
授業内容(概要)	高齢者・障がい者施設また地域保健活動の場として幼稚園等で、対人関係・施設の管理、歯科衛生業務等を修得するために必要な知識、技術及び態度を身につける		
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論・歯科診療補助論 (全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社) 今まで勉強してきた実習記録ノートや配布資料		
成績評価の基準方法	・実習状況、記録類、出席状況と学生自己評価表、実習指導者評価表、提出時期の総合的評価 ・100点満点で80点以上A,79～70点B,69点～60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	実習内容
1	I 接遇・基本姿勢 ①誰に対しても笑顔で挨拶・返事をし、対象者に応じた言葉遣いをする ②常に報告・連絡・相談をする ③決められた時間、規則を守り積極的に取り組むようにする
2	II-1 保育・口腔保健教育活動 ①園児の保育教育活動を理解する ②日常生活を観察し口腔衛生指導を立案し実施する
3	II-2 心構え(高齢者・障がい者) ①健康を支援するものとして自らの健康管理をする ②医療人として清潔な態度でのぞむようにする
4	II-3 態度(高齢者・障がい者) ①何事においても常に報告・連絡・相談をする ②何事にもベストを尽くし積極的に取り組むようにする ③指導者の助言を受け止め次に生かすようにする
5	III-1 到達目標に対する評価内容(高齢者) ①高齢者施設の特徴を理解する ②高齢者ケアにおける多職種の役割と連携の重要性について理解する
6	③入所者に対し、人権に配慮し、受容的・共感的な態度で接する ④非言語的な方法でコミュニケーションをとるようにする
7	III-2 到達目標に対する評価内容(障がい者) ①障がい者の個々のニーズに応じたコミュニケーションを図る ②障がい者に関わる多職種の役割について確認する
8	③障がい者の個々のニーズに応じたセルフケアの支援・口腔ケアを確認する ④摂食嚥下機能を観察し、食事介助の観察をする

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	臨床実習(実習)	学年・開講期	1年(後期)
担当教員	麻生清子・三浦典子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	5単位 225時間
目標	歯科衛生士の役割が列挙でき、患者及び実習指導者とコミュニケーションをとることができる		
授業内容(概要)	対人関係、歯科衛生業務、診療室の管理、歯科衛生業務、等を歯科臨床の場を通して必要な知識、技術及び態度を身につける		
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論・歯科診療補助論 (全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社) 今まで勉強してきた実習記録ノートや配布資料		
成績評価の基準方法	実習状況、記録類、出席状況と学生自己評価表、実習指導者評価表、提出時期の総合的評価 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	実習内容
1	I 遭遇 ①誰に対しても笑顔で挨拶・返事をし、対象者に応じた言葉遣いをする ②指示に対して適切な返事をし、決められた時間・規則を守り実習開始前に実習の体制を整えるようにする ③医療現場での1日の診療の流れを知る
2	II-1 態度 ①何事においても常に報告・連絡・相談をする ②何事にもベストを尽くし積極的に取り組むようにする ③口腔衛生指導等を見学し、要点を書き留め記録する
3	II-2 心構え ①健康を支援するものとして自らの健康管理をする ②医療人として清潔な態度でのぞむようにする
4	II-3 コミュニケーション ①患者及び実習指導者とコミュニケーションがうまくとれるようになる
5	III-1 院内業務 ①歯科衛生士の役割を記録できる ②器具の名前・置き場所等の確認をする
6	③基本器材の準備、後片付け、洗浄をする ④見学した歯科処置の流れを1例以上記録する
7	⑤バキューム操作の目的意義を知り、簡単なバキューム操作を行う ⑥正しいライティングの位置を確認する
8	III-2 医療安全 ①患者への挨拶・誘導・声掛けをスムーズに行う ②清潔・不潔の区別を習得する

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	臨地実習(実習) (高齢者・障がい者・小児)	学年・開講期	2年(後期)
担当教員	麻生清子・三浦典子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	5単位 225時間
目標	①高齢者施設における医療・機能訓練・介護が必要な高齢者の生活特性を学び、口腔衛生活動を通して生活の質の向上の支援し、多職種の役割を理解し、協働を考える ②障がい者の個々のニーズに応じたコミュニケーションを図り、セルフケアの支援・口腔ケアを確認する ③遊びを通して園児とコミュニケーションをとることができる・体験・観察から幼児に対する支援の要点を列挙することができる		
授業内容(概要)	高齢者・障がい者施設また地域保健活動の場として幼稚園等で、対人関係・施設の管理、歯科衛生業務等を修得するために必要な知識、技術及び態度を身につける		
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論・歯科診療補助論 (全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社) 今まで勉強してきた実習記録ノートや配布資料		
成績評価の基準方法	・実習状況、記録類、出席状況と学生自己評価表、実習指導者評価表、提出時期の総合的評価 ・100点満点で80点以上A,79～70点B,69点～60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	実習内容
1	I 接遇・基本姿勢 ①誰に対しても笑顔で挨拶・返事をし、対象者に応じた言葉遣いをする ②常に報告・連絡・相談をする ③決められた時間、規則を守り積極的に取り組むようにする
2	II-1 保育・口腔保健教育活動 ①園児の保育教育活動を理解する ②日常生活を観察し口腔衛生指導を立案し実施する
3	II-2 心構え(高齢者・障がい者) ①健康を支援するものとして自らの健康管理をする ②医療人として清潔な態度でのぞむようにする
4	II-3 態度(高齢者・障がい者) ①何事においても常に報告・連絡・相談をする ②何事にもベストを尽くし積極的に取り組むようにする ③指導者の助言を受け止め次に生かすようにする
5	III-1 到達目標に対する評価内容(高齢者) ①高齢者施設の特徴を理解する ②高齢者ケアにおける多職種の役割と連携の重要性について理解する
6	③入所者に対し、人権に配慮し、受容的・共感的な態度で接する ④非言語的な方法でコミュニケーションをとるようにする
7	III-2 到達目標に対する評価内容(障がい者) ①障がい者の個々のニーズに応じたコミュニケーションを図る ②障がい者に関わる多職種の役割について確認する
8	③障がい者の個々のニーズに応じたセルフケアの支援・口腔ケアを確認する ④摂食嚥下機能を観察し、食事介助の観察をする

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	臨床実習(実習)	学年・開講期	3年(前期)
担当教員	麻生清子・三浦典子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	10単位 450時間
目標	①診療ごとに必要な器材の準備、取り扱いが確認できる ②対象者に合わせてコムにケーションをとることができる ③患者のことば、歯科診療録、歯科衛生士業務記録から患者のニーズを拾い出すことができる ④実習指導者からの指示内容を理解し、実践できる ⑤1症例だけでも情報収集、分析、計画立案ができる		
授業内容(概要)	対人関係、歯科衛生業務、診療室の管理、歯科衛生業務等を歯科臨床の場を通して必要な知識、技術及び態度を身につける		
教科書	歯科予防処置論・歯科保健指導論・歯科診療補助論 (全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社) 今まで勉強してきた実習記録ノートや配布資料		
成績評価の基準方法	実習状況、記録類、出席状況と学生自己評価表、実習指導者評価表、提出時期の総合的評価 ・100点満点で80点以上A,79~70点B,69点~60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする		

回数	実習内容
1	I 基本的事項 ①清潔のある身だしなみに心がける ②常に報告・連絡・相談をする ③患者及びスタッフとコミュニケーションをとるようにする ④決められた時間、規則を守り積極的に取り組むようにする ⑤医療現場での1日の診療の流れを知る
2	II-1 患者対応 ①患者への挨拶、誘導、声掛けをスムーズに行う
3	II-2 院内業務 ①指示の確認と復唱をする ②実習指導者の下バキューム操作をスムーズに行う
4	II-3 院内業務 ①一人でバキューム操作をスムーズに行う
5	II-4 医療安全 ①器具器材の滅菌方法を記述をする
6	II-5 医療安全 ①医療廃棄物の分別をできるようにする
7	III-1 介助業務 ①見学及び体験した処置法について記述する
8	III-2 介助業務 ①見学および使用した器具器材の名称を記述する
9	IV-1 歯科予防処置 ①見学及び体験した処置法について記述する
10	IV-1 歯科予防処置 ①見学及び体験した処置法について記述する
11	IV-2 歯科予防処置 ①見学および使用した器具器材の名称を記述する
12	IV-3 歯科保健指導 ①見学および体験した口腔清掃法について記述する
13	IV-4 歯科保健指導 ①PMTC・PTCの目的について説明されていたことを記述する
14	IV-5 歯科保健指導 ①情報収集、アセスメントから計画までの過程をふまえた歯科衛生計画を作成する
15	IV-5 歯科保健指導 ①情報収集、アセスメントから計画までの過程をふまえた歯科衛生計画を作成する

2020 シラバス

藤華歯科衛生専門学校
歯科衛生学科

科目名	歯科総合演習(演習)	学年・開講期	3年(後期)
担当教員	麻生清子・三浦典子・神田郁恵(実務経験者) 元歯科医院歯科衛生士 現本校専任教員	時間数	23単位 360時間
目標	この2年半で習得した知識、技術を最後の集大成として、不十分な個所を徹底的に指導し、国家試験合格100%を目指す		
授業内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の歯科臨床・地域保健活動等の現場と同様に対人関係、歯科衛生業務、診療室・施設等の管理、歯科衛生の実践の演習を行う、 ・国家試験対策として模擬試験等実施し、理解を深める 		
教科書	年度別 歯科衛生士国家試験問題集・ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策①～⑤・科目別歯科衛生士国家試験問題集・歯科衛生士国試対策集2021年対応1～29回全重要問題解決説集		
成績評価の基準方法	<ul style="list-style-type: none"> ・数回の模擬試験 ・実技試験 ・100点満点で80点以上A,79～70点B,69点～60点C,(合格)とし59点以下D(不合格)とする 		

回数	授業内容
1	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能 (1 人体の構造 2 人体の機能・構成成分) ・小テスト
2	歯・口腔の構造と機能 (1 歯・口腔の構造 2 歯・口腔の機能・組成) ・小テスト 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (1 病因と病態 2 感染と免疫 3 生体と薬物) ・小テスト
3	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み ① (1 総論 2 口腔清掃 3 う蝕の予防 4 歯周病の予防 5 その他の疾患の予防 6 歯科疾患の疫学と歯科保健統計) ・小テスト
4	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み ② (7 地域歯科保健活動 8 環境・社会と健康 9 保健・医療・福祉の制度) ・小テスト
5	模擬試験・解説
6	歯科衛生士概論 (1 歯科衛生士とその業務) ・小テスト
7	臨床歯科医学 ① (1 臨床歯科総論 2 歯・歯髄・歯周組織の疾患と治療 3 歯の欠損と治療) ・小テスト
8	臨床歯科医学 ② (4 顎・口腔領域の疾患と治療 5 不正咬合と治療 6 小児の理解と歯科治療) ・小テスト

9	臨床歯科医学 ③ (7 高齢者の理解と歯科治療 8 障害者の理解と歯科治療) ・小テスト
10	歯科予防処置論 ① (1 総論 2 歯周予防処置) 歯科予防処置論 ② (3 う蝕予防処置) ・小テスト
11	総合実技実習
12	模擬試験・解説
13	歯科保健指導論 ① (1 総論 2 情報収集 3 口腔衛生管理) 歯科保健指導論 ② (4 生活習慣指導 5 食生活指導 6 口腔機能管理 7健康教育) ・小テスト
14	歯科診療補助論 ① (1 総論 2 主要歯科材料の種類と取り扱いと管理 3 保存治療時の診療補助) ・小テスト
15	歯科診療補助論 ② (4 補綴治療時の診療補助 5 矯正歯科治療時の診療補助 6 小児歯科治療時の治療時の診療補助 7 高齢者治療時の診療補助) ・小テスト
16	総合実技実習
17	歯科診療補助論 ③ (8 障害者治療時の診療補助 9 エックス線写真撮影時の診療補助 10 救命救急処置) ・小テスト
18	模擬試験・解説